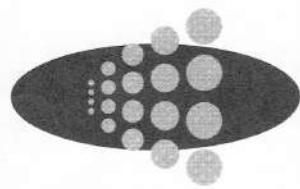


躍進

Y A K U S I N

No.32

株式会社 加藤組 社内報「躍進」
発行日／平成14年8月13日
男鹿市脇本脇本字向山18-6
TEL 0185-25-3001(代) FAX 0185-25-2234



KATO

光飯商事株式会社
日本アスコン株式会社

おかげさまでISO9001を取得する事ができました。



平成14年8月
暑さ厳しい折
ご苦労さまです



「平成14年度安全大会」

目指すゴールは危険ゼロ

進めよう職場の安全管理

平成14年度の全国安全週間（7月1日～7日）スローガン



安全衛生委員会
議長 鈴木 耕一



全国安全週間は、昭和3年に初めて実施されて以来、「人間尊重」という崇高な理念の下、一度も中断することなく続けられ、本年で75回目を迎えるました。

当社も毎年この期間中、「安全大会」を計画しており、本年は7月5日（金）に実施致しました。当日は梅雨期のまつだち中になりながら、幸い天候にも恵まれ、お陰様を持ちまして無事成功裡に閉幕できました。従業員各位のご協力に深く感謝申し上げます。

大会当日は、参加者各位の暖かいご配慮とご支援により、スムースな進行が展開されました。午後1時30分、開会のことばに始まり、安全スローガン唱和、安全五カ条唱和、安全表彰、社長挨拶と続き、米賀祝辞では米谷藤和会会長より祝辞を頂戴致しました。次にご出席くださいました協力会社の方々を、一社ずつご紹

介申し上げ、最後に全員の拍手をもつて歓迎の意を表しました。続いて安全発表のコーナーでは、表彰者を代表して世紀東急工業(株)の高津工事主任より、貴重な現場体験を発表して頂きました。加えて当社を代表し、原田土木部主任よりユニークな安全管理体験談を述べて頂きました。両名とも真剣に発表してくださいり、参加者達の強い共感を呼んでいたのが印象的でした。引き続き土木部の伊藤次長より、安全に係わるISO 9001の「是正処置」について当該現場の実例を挙げ、具体的かつ貴重な報告を頂きました。前半最後の次第として、安全衛生委員会報告を申し述べ、ここで10分間の休憩。後半に入り、「労働災害と事業者の責任」というタイトルの、安全に関するビデオを15分間上映し、その後いよいよ本日のメインイベントである安全講話を、総合労働相談員の鈴木栄悦様よりご講義頂きました。演題は「災害事例に学ぶ」と題し、1時間以上にわたる熱い講義でした。その内容は最近秋田県内で発生した死亡事故例を3件取り上げ、一つ一つの事例を配布された資料に基づき、わかりやすく解説して頂きました。その結果として、「ヒューマンエラー対策の考え方」を具体的にお話しくださいり、参加者全員熱心に耳を傾けておりました。安全講話を終了後、閉会のことばにて本日の安全

紹介申し上げ、最後に全員の拍手をもつて歓迎の意を表しました。続いて安全発表のコーナーでは、表彰者を代表して世紀東急工業(株)の高津工事主任より、貴重な現場体験を発表して頂きました。加えて当社を代表し、原田土木部主任よりユニークな安全管理体験談を述べて頂きました。両名とも真剣に発表してくださいり、参加者達の強い共感を呼んでいたのが印象的でした。引き続き土木部の伊藤次長より、安全に係わるISO 9001の「是正処置」について当該現場の実例を挙げ、具体的かつ貴重な報告を頂きました。前半最後の次第として、安全衛生委員会報告を申し述べ、ここで10分間の休憩。後半に入り、「労働災害と事業者の責任」というタイトルの、安全に関するビデオを15分間上映し、その後いよいよ本日のメインイベントである安全講話を、総合労働相談員の鈴木栄悦様よりご講義頂きました。演題は「災害事例に学ぶ」と題し、1時間以上にわたる熱い講義でした。その内容は最近秋田県内で発生した死亡事故例を3件取り上げ、一つ一つの事例を配布された資料に基づき、わかりやすく解説して頂きました。その結果として、「ヒューマンエラー対策の考え方」を具体的にお話しくださいり、参加者全員熱心に耳を傾けておりました。安全講話を終了後、閉会のことばにて本日の安全

紹介申し上げ、最後に全員の拍手をもつて歓迎の意を表しました。続いて安全発表のコーナーでは、表彰者を代表して世紀東急工業(株)の高津工事主任より、貴重な現場体験を発表して頂きました。加えて当社を代表し、原田土木部主任よりユニークな安全管理体験談を述べて頂きました。両名とも真剣に発表してくださいり、参加者達の強い共感を呼んでいたのが印象的でした。引き続き土木部の伊藤次長より、安全に係わるISO 9001の「是正処置」について当該現場の実例を挙げ、具体的かつ貴重な報告を頂きました。前半最後の次第として、安全衛生委員会報告を申し述べ、ここで10分間の休憩。後半に入り、「労働災害と事業者の責任」というタイトルの、安全に関するビデオを15分間上映し、その後いよいよ本日のメインイベントである安全講話を、総合労働相談員の鈴木栄悦様よりご講義頂きました。演題は「災害事例に学ぶ」と題し、1時間以上にわたる熱い講義でした。その内容は最近秋田県内で発生した死亡事故例を3件取り上げ、一つ一つの事例を配布された資料に基づき、わかりやすく解説して頂きました。その結果として、「ヒューマンエラー対策の考え方」を具体的にお話しくださいり、参加者全員熱心に耳を傾けておりました。安全講話を終了後、閉会のことばにて本日の安全

紹介申し上げ、最後に全員の拍手をもつて歓迎の意を表しました。続いて安全発表のコーナーでは、表彰者を代表して世紀東急工業(株)の高津工事主任より、貴重な現場体験を発表して頂きました。加えて当社を代表し、原田土木部主任よりユニークな安全管理体験談を述べて頂きました。両名とも真剣に発表してくださいり、参加者達の強い共感を呼んでいたのが印象的でした。引き続き土木部の伊藤次長より、安全に係わるISO 9001の「是正処置」について当該現場の実例を挙げ、具体的かつ貴重な報告を頂きました。前半最後の次第として、安全衛生委員会報告を申し述べ、ここで10分間の休憩。後半に入り、「労働災害と事業者の責任」というタイトルの、安全に関するビデオを15分間上映し、その後いよいよ本日のメインイベントである安全講話を、総合労働相談員の鈴木栄悦様よりご講義頂きました。演題は「災害事例に学ぶ」と題し、1時間以上にわたる熱い講義でした。その内容は最近秋田県内で発生した死亡事故例を3件取り上げ、一つ一つの事例を配布された資料に基づき、わかりやすく解説して頂きました。その結果として、「ヒューマンエラー対策の考え方」を具体的にお話しくださいり、参加者全員熱心に耳を傾けておりました。安全講話を終了後、閉会のことばにて本日の安全

紹介申し上げ、最後に全員の拍手をもつて歓迎の意を表しました。続いて安全発表のコーナーでは、表彰者を代表して世紀東急工業(株)の高津工事主任より、貴重な現場体験を発表して頂きました。加えて当社を代表し、原田土木部主任よりユニークな安全管理体験談を述べて頂きました。両名とも真剣に発表してくださいり、参加者達の強い共感を呼んでいたのが印象的でした。引き続き土木部の伊藤次長より、安全に係わるISO 9001の「是正処置」について当該現場の実例を挙げ、具体的かつ貴重な報告を頂きました。前半最後の次第として、安全衛生委員会報告を申し述べ、ここで10分間の休憩。後半に入り、「労働災害と事業者の責任」というタイトルの、安全に関するビデオを15分間上映し、その後いよいよ本日のメインイベントである安全講話を、総合労働相談員の鈴木栄悦様よりご講義頂きました。演題は「災害事例に学ぶ」と題し、1時間以上にわたる熱い講義でした。その内容は最近秋田県内で発生した死亡事故例を3件取り上げ、一つ一つの事例を配布された資料に基づき、わかりやすく解説して頂きました。その結果として、「ヒューマンエラー対策の考え方」を具体的にお話しくださいり、参加者全員熱心に耳を傾けておりました。安全講話を終了後、閉会のことばにて本日の安全

紹介申し上げ、最後に全員の拍手をもつて歓迎の意を表しました。続いて安全発表のコーナーでは、表彰者を代表して世紀東急工業(株)の高津工事主任より、貴重な現場体験を発表して頂きました。加えて当社を代表し、原田土木部主任よりユニークな安全管理体験談を述べて頂きました。両名とも真剣に発表してくださいり、参加者達の強い共感を呼んでいたのが印象的でした。引き続き土木部の伊藤次長より、安全に係わるISO 9001の「是正処置」について当該現場の実例を挙げ、具体的かつ貴重な報告を頂きました。前半最後の次第として、安全衛生委員会報告を申し述べ、ここで10分間の休憩。後半に入り、「労働災害と事業者の責任」というタイトルの、安全に関するビデオを15分間上映し、その後いよいよ本日のメインイベントである安全講話を、総合労働相談員の鈴木栄悦様よりご講義頂きました。演題は「災害事例に学ぶ」と題し、1時間以上にわたる熱い講義でした。その内容は最近秋田県内で発生した死亡事故例を3件取り上げ、一つ一つの事例を配布された資料に基づき、わかりやすく解説して頂きました。その結果として、「ヒューマンエラー対策の考え方」を具体的にお話しくださいり、参加者全員熱心に耳を傾けておりました。安全講話を終了後、閉会のことばにて本日の安全

安全大会表彰者

おめでとうございます。
ますますのご活躍を
期待しております。

従業員

内田 透 さん
杉本 恭子 さん

江畠 勝 さん
沢田 庄市 さん

協力業者

世紀東急工業(株)様
(有)ユウコー 様



安全大会に参加して



土木部 課長代理
渡部 邦明

建設現場に係わる一員として

第一に考えなければならない事は、
「安全最優先」 という事です。

講演資料にあるとおり、事故の原因はヒューマンエラーによるところが多く、対策としては安全教育・訓練を行う事が重要であり、またその効果は高いといふ事です。

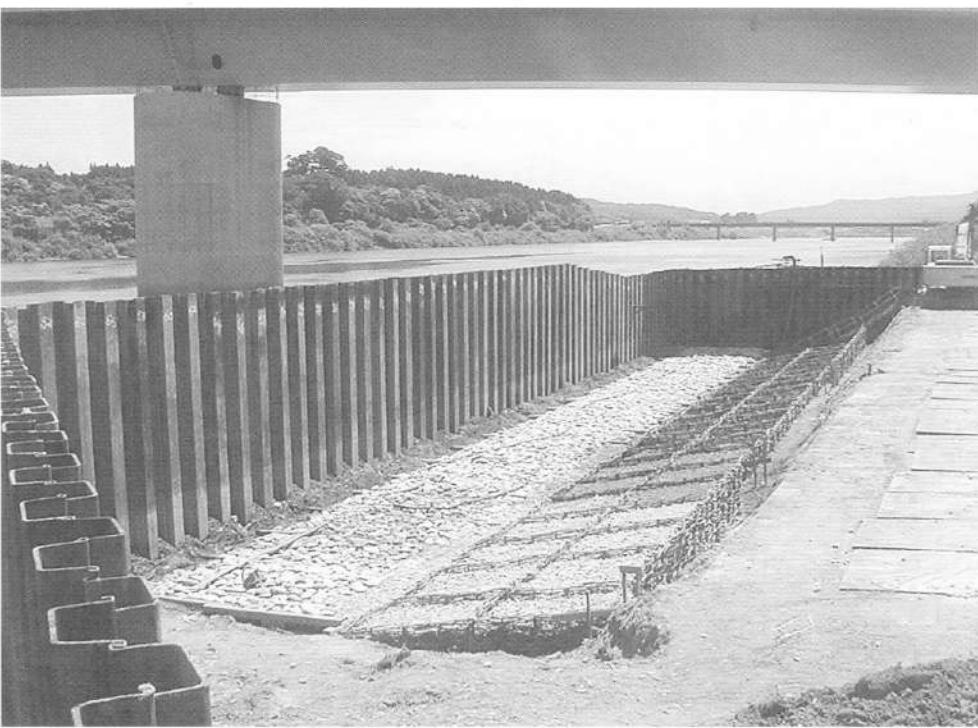
対策が難しいのは、危険軽視についてだと思われます。作業する人が、それほど危険性を感じない場合でも、現場のルール、安全についての指示事項に従い、安全な行動をとるようになければいけないと思います。

現場に携わる者同士に連帯感が生まれ、全員が安全活動に積極的に取り組み、お互いが不安全行動に対しても注意しあえるような雰囲気を作っていくかなければならぬと思います。工期優先ではなく、安全が最優先だという事を忘れず、安全活動に取り組みたいと思います。



現場レポート

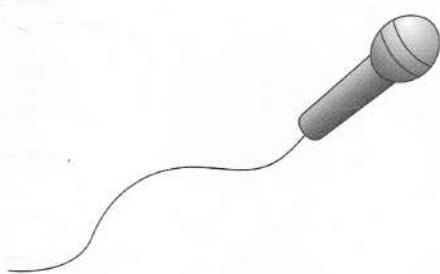
黒瀬地区外 護岸工事



工事概要

工事場所：河辺郡雄和町黒瀬～種沢地内

工期：平成14年3月26日～9月20日



7月11日から連続して発生した台風6号、7号の通過の際は、施工箇所や工事用道路が水没し、2週間にわたり工事がストップしました。幸いにして、重機や資材などが流出するという事はなかったのですが、自然の猛威をまざまざと見せつけられました。遅れた工程を挽回し、梅雨と台風シーズンを最小の被害で乗り切り、無事故で工事を完成するため、伊勢主任と連携を密にして現場の管理に努めて行きたいと思います。

本工事は、雄物川下流環境整備事業の一環として、低水護岸の新設工事を行うものです。雄物川では、カヌーを楽しむ人々が多く、カヌーの船付場としても利用できます。従来、河川護岸工事というと、根固工としてコンクリートブロックが使用されていましたが、構造物をより自然に近い形にするため、木工沈床、粗朶柵、玉石粗朶といった多様な工法を取り入れて施工しています。河川工事で最も注意しなければならない事は、河川の増水による災害や、それに伴う工事の手戻りです。



土木課 課長
小野 俊剛

現場レポート

櫛沢地区ため池等整備工事



工事場所：男鹿市脇本地内
工 期：平成14年3月27日～8月30日

ご苦労様です。
始めに工事概要の説明をします。

当工事現場は、若美町と男鹿市の境に位置する、櫛沢ため池の老朽化対策として、堤体を全面改修する工事です。

主な工種として、土木3千立米、堤体盛土5千立米、法面仕上げ3千5百平米、張芝1千3百平米、取り付け樹6個、法先排水路2百米、法先ドレン2百6十米です。

工期は平成14年3月から8月までとなつております。

工事はため池の水を抜かなければ施工が出来ないため、代替給水設備の確保、仮設道路の造成→ヘドロの掘削→土留工→段切りと進み、現在メーンの堤体盛土を、密度・透水試験に制约を受けながら、ISO現場品質目標値を満足するよう努力しております。

土木工事が主のため天候が工事の進捗を大きく左右します。

今年は台風の通過も多いように思われます。工期内完成のためにも、一日も早く梅雨が明けてほしいと思っております。



土木課 係長
成田 義則



今井 さつき

少しでも多く何かを得られる様、
頑張りたい。

今年2月、県立大学の大学院新築工事に、主に書類関係の担当として配属された。現場に乗り込んだ当初は、毎日多量の書類作成に追われ、現場を見に行く余裕さえなかつた。書類が落ち着きだした頃から、JVの皆さんに色々教えてもらつたり、少しずつでも自分の身についているのかなあと感じています。

残り工期約6ヶ月。少しでも多く何かを得られる様、頑張りたいと思います。

私たち頑張っています



加藤 智美

初心を忘れずこれからも
一生懸命に頑張って行きたい。

会社に入社して4ヶ月がたとうとしています。4月1日の入社式のあのドキドキした気持ちを今でも覚えています。不安と期待の入り混じつた複雑な気持ちでした。その不安も、この4ヶ月間の会社の方々の優しさにつしか消えていました。多くの人に支えられてここまで頑張つてくことができてとてもうれしく思います。

私は建設業の事務という自分の希望する仕事に就くことができました。初心を忘れずこれからも一生懸命に頑張つて行きたいと思います。これからもご指導の程よろしくお願ひします。

この規格は取得してからが始まりです。

「ISOについて」

土木部本部長（品質システム管理責任者）佐藤 忠成



皆様も既にご存知の通り、当社もISO9001（94年版）を3月1日付で認証・取得致しました。今なぜ建設業社等がこそこの規格を取得するのかというと品質保証の水準の向上（請負契約と瑕疵保証）及び公共工事におけるこの規格の認証取得の入札条件化への動きなどが挙げられます。ISO9001において重要なのが品質システムでISO9001の要求事項（4・124・20）に従つて組織における業務活動の手順を整え、評価して記録として残す仕組みであると文章に定められています。品質システムを構築し、適切に運用する事で品質水準が向上し、お客様の信頼獲得につながります。我々建設業においては事後補償を抑えることになり、発生者側と施工者側の両者に大きなメリットが生じます。

P(計画)→D(実行)→C(チェック)→A(改進)の繰り返しが全ての品質システムの根幹となります。各部署においては通常の業務にISOの書類が増え、負担も多くなりますが会社の為ひいては地域の為高品質の施工をモットーとして信頼・安心・満足を得る製品の提供をしていく証としてのISO9001の認証維持の為、またISO9001（2000年度版）移行とこれからも大変ではありますが皆様のご理解とご協力をお願い致します。何度も言いますがこの規格は取得してからが始まりです。維持していく為には沢山の経費と時間そして努力が必要だと思います。個人の努力の結集が1個の会社を支えるんだと認識しております。9月には最初のサーベラנסが控えています。本調査の時よりなお一層高度な要求があるかもしれません、各自のこの規格に対応しての研さんをお願いしますの稿を終えたいと思います。

第24回 4校で熱戦繰り広げる 加藤杯争奪選抜少年野球大会

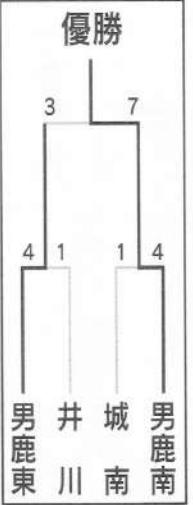
第24回加藤杯争奪選抜少年野球大会が去る6月1日、男鹿東中グランドに前年度優勝の城南中、南秋の強豪井川中、さらに男鹿南中、地元男鹿東中の4校を招いて開催されました。

前日までの雨によりグラウンド状態が心配されましたが、東中野球部の父兄による早朝からのグラウンド整備のおかげで、予定通り午前8時に開会式が行われました。

第一試合は男鹿東中が先制し、七回にはダメ押しの3点を挙げ、井川中の反撃を最終回の1点に抑えて決勝進出を決め、第二試合は男鹿南中が、初回、四回、六回と理想的に得点を重ねて、前年度優勝の城南中を4対1で下して、決勝に駒を進めました。

男鹿市内同士の戦いとなつた決勝戦は、男鹿南中が初回から男鹿東中を圧倒し、着々と得点を重ね、終盤追い上げられたものの7対3で逃げ切り初優勝を飾りました。

終了後閉会式が行われ、男鹿南中宮崎主将に優勝旗が渡り、健闘した両校にメダルが贈られ熱戦の幕が降ろされました。結果は次の通りです。



男鹿南中学校は、7月31日、全県少年野球大会で準優勝しました。おめでとうございます。



My Family

私の家族を紹介します!

OAシステム開発部 主任 小山田 定昭さん

わが家の家族を紹介します。はじめはお父さんです。お父さんは田んぼの仕事や、庭の手入れをがんばっています。次は、お母さんは、福祉の仕事を頑張っています。明るく、おいしい野菜を作ってくれます。長男の昂大は、水泳をがんばっています。長女絵が得意です。最後に、長女の香純です。ころばんをがんばっています。動物が大好きです。5人家族のわが家は、みんな、おいしいものを食べるのが大好きで、楽しい家族です。

(作・長女 香純)

クイズ

Q. 日韓共同で行われた2002年ワールドカップ。熱戦のうえ
ブラジルが優勝となりましたが決勝で戦った国はどこ?

- ①フランス ②ドイツ ③日本

50

0100342

株式会社
加藤組

クイズ係行

男鹿市脇本脇本字向山18-6

クイズの答え
住所
氏名
年齢
性別
TEL

※正解者の中から抽選により3名様に豪華記念品を進呈。1家族1枚に限ります。参加賞もあります。
(締切/平成14年8月31日)

世界が注目した日韓共催のW杯がブラジルの優勝で幕を閉じてから早いもので一ヶ月が過ぎました。世界の超一流のプレーやを見ることが出来て、興奮した方も多かつたと思います。さらに子供たちには大きな夢を与えてくれたのではないでしょうか?ロナウド・カーン・ペツカムなどを夢見るサッカー少年が増えて秋田からも世界に通用する選手が出て欲しいものです。

編集後記



はじめまして、名前は泰平といいます。去年の暮れ、暴風で男鹿市全域と天王町などで停電になつた12月30日に生まれました。(愛子様は1日です)この年の9月には、アメリカ同時多発テロなど、世界を震撼させる暗い出来事が発生したこともあり、平和で安泰な人生をすごせるようにと、お祖父、いや、お父さんが名前を付けてくれました。兄ちゃんとは14才離れてますが、とてもかわいがつてくれます。

土木部
課長

小野
俊剛さん